

授業科目	感染症学				
担当者	藤岡 重和 (実務経験者)				
実務経験者の概要	科目担当者は、医療機関において医師として各種感染症を含む診療業務に従事している。				
学科名	理学療法学専攻	学 年	3年	総単位数	1単位
	作業療法学専攻	開講時期	後期	選択・必修	必修

■ 内 容

感染症と人・微生物との関わり、感染防御機構、感染症の検査と診断、治療、そして感染予防策について学習する。感染症は、リハビリテーション領域において、特に注意が必要であり、各種感染症について基本的理解ができるように解説する。

■ 到達目標

1. 微生物と感染症、感染防御機構について基本的理解ができる
2. 代表的な感染症について、病原微生物とその感染経路、臨床像、診断と治療法を理解する
3. 院内感染および感染予防対策について説明できる

■ 授業計画

- 第1回 感染症総論 (1) 微生物と感染症、感染防御機構
 第2回 感染症総論 (2) 感染症の検査と診断、感染症の治療
 第3回 感染症各論 (1) 呼吸器感染症、結核
 第4回 感染症各論 (2) 消化器感染症、食中毒、肝炎
 第5回 感染症各論 (3) 尿路感染症、性感染症、皮膚・粘膜の感染症
 第6回 感染症各論 (4) 人獣共通感染症、寄生虫感染症、新興感染症、感染症トピックス
 第7回 感染制御学 (1) 院内感染、薬剤耐性菌、標準予防策、感染経路別予防策
 第8回 感染制御学 (2) リハビリテーション業務における感染対策、国家試験対策

■ 評価方法

【科目試験(筆記試験)】 80% 小テスト 20%

■ 授業時間外の学習(予習・復習等)について

各授業では、次回までに学習すべき課題を提示しますので、事前学習を必ずしておいてください。また、次回授業までに、前回の授業内容を各自ノートにまとめて十分に復習してください。

■ 教科書

書名：臨床微生物、医動物 (NURSING GRAPHICUS 疾患の成り立ち 3)
 著者名：矢野久子、安田陽子
 出版社：MC メディカ出版

■ 参考図書

書名：病原体・感染・免疫 第2版
 著者名：藤本秀士
 出版社：南山堂

■ 留意事項

小テストを含む試験時に不正な行為があったと認められた者については、規程に定める第16条を適用し、当該学期の全ての試験を無効とし、失格(留年)とする。

■ 講義受講にあたって